

脱炭素チャレンジカップ 2024 の開催結果



2024. 2. 6 東京大学 伊藤謝恩ホール 茨城県勢 2 団体が受賞

<LOVE EARTH DAY・取手市立取手西小学校>

「脱炭素チャレンジカップ」は、学校・市民団体・企業・自治体などの多様な団体が展開している脱炭素を目的とした地球温暖化防止に関する地域活動について、書類とプレゼンテーションで審査を行い、優れた取組を表彰している全国大会です。地球温暖化防止全国ネットとセブン-イレブン記念財団が共催し、賛同いただいた事業所及び環境省・文部科学省が後援する大会として今年で 14 年目を迎えます。本年度の大会には、全国 180 の応募の中から厳選な審査を経てファイナリストとなった 24 団体の活動動画による最終審査が行われ、大臣表彰 7 団体を含む 27 の各賞が決まりました。茨城県からは昨年 8 月 25 日に茨城県地球温暖化防止活動推進センターが主催した予選会(クールアースいばらき大会)で、最優秀となった「Love Earth Day」と一般公募により選出された「取手市立取手西小学校」の 2 団体を選考会へ推薦。事務局審査の結果、2 団体ともにファイナリストとして大会に出場しました。当日、会場には出場団体関係者、地球温暖化防止活動推進員や協賛団体など約 200 人が来場しました。



脱炭素チャレンジカップ HP は ⇒ <https://www.zenkoku-net.org/datsutanso/>

<受賞内容>

・Love Earth Day「オーディエンス賞」「優秀賞」のW受賞

ひたちなか市の海岸でのビーチクリーン活動を子供たちが行っており、毎回の活動では年齢や職種、国籍等も異なるボランティアも参加。これまで拾ったごみは 800 袋になります。現場ではマイクロプラスチック問題と磯の学習などの場にもなってきました。拾ったごみを少しでも焼却処分しないで CO₂ を抑えたいと考え「アースデイの催し」に合わせアクセサリーづくりや海ゴミアートを展開



し、本年度は「有機物磁気熱分解エネルギー変換装置」(<https://www.nseg.co.jp/tcekiln/mg.html>)を活用して 200 分の 1 のパウダーに減容化することにより、カルシウムが豊富な肥料となり、ひたちなか市立前渡小学校の花壇で活用しました。この取組で、全国の地域センター及び地球温暖化防止活動推進推員が投票して決定する「オーディエンス賞」と「優秀賞」の 2 部門を受賞しました。

・取手市立取手西小学校「環境大臣賞 金賞」受賞

「脱炭素チャレンジの森(フィールド)」づくりを目指し、使用頻度の低い遊具による発電、給食残渣肥料での土壌改良、カーボンオフセットに資する植樹などを通して、自分たちにできる「本気で脱炭素」のアイデアを基に活動を行いました。



まず、学校から出されている CO₂ を知るために当センター会員の e-dash 株式会社 (<https://e-dash.io/>) の協力を得て計算方法を学び、東京都市大学の杉浦正吾特任教授と探究学習を行いました。大学生や企業の方々とも協働し、CO₂ 削減効果を算出し、未来に向けた取手西小学校の取組を全国の小学校が行うことができる SDGs の象徴として高い評価が得られ「環境大臣賞金賞」を受賞しました。

<受賞の様子>



Love Earth Day 「オーディエンス賞」「優秀賞」受賞



取手市立取手西小学校「環境大臣賞 金賞」

会場で行われた表彰式では、受賞団体の動画紹介と喜びのコメントタイムが設けられました。

「Love Earth Day の子供たち3人を含む6人が登壇」

海岸のゴミ拾いに協力いただいていた地域の方々に感謝し、これまで燃やされてきたごみが花壇の肥料に変えられる取組を全国に伝えられたことを喜びました。

「取手市立取手西小学校は石塚康英校長先生が登壇、リモートで生徒がコメント」

SDGs を脱炭素行動で実践。まずは、学校として誰もができることをスタートした。教員を交えてCO₂排出の計算方法を学び、子供たちが探求して次々にアイデアが得られて実行したことを喜びました。

受賞者一覧はこちらとなります <https://www.zenkounet.org/datsutanso/pdf/challengecup2024.pdf>

<脱炭素チャレンジカップ2024：交流会>

全てのプログラム終了後、会場では「参加者交流会」が行われ、総合司会の櫻田彩子エコアナウンサーと全国ネット平田裕之事務局長の進行により1時間の交流会が開催されました。茨城県出身の大会アンバサダー高橋克英さん(茨城県地球温暖化防止活動推進員：東邦大学4年)、浅利圭吾さん(逆川こどもエコクラブ所属 tv asahi 危険生物博士ちゃん：中学3年 <https://sakasagawaeco.blogspot.com/>)も、他のアンバサダー(<https://www.zenkou-net.org/datsutanso/ambassador.php>)とともに、受賞団体・協賛企業を盛り上げていました。



<脱炭素チャレンジカップ2024 主催・協賛団体一覧>

主催 脱炭素チャレンジカップ実行委員会 委員長 小宮山 宏 (三菱総合研究所 理事長)

共催 地球温暖化防止全国ネット、セブン-イレブン記念財団

○特別協賛 ユニ・チャーム、ニトリ

◎協賛団体(当協会会員事業所様)

レンゴー、サラヤ、JX 金属環境、中央電気工業、北越コーポレーション、アクトリー
ダイキン HVAC ソリューション東京、日省エンジニアリング、東部燃焼、ECI
水戸ヤクルト販売、Pure Cycle いばらき、エコツー技術研究所、水戸さくらロータリークラブ
てらじま、リビング館ホンダ

○協賛団体 日本WPA、新田ゼラチン、炭素会計アドバイザー協会、タンソーマンGX、日本マクドナルド
SOMPO 環境財団、ウェストボックス、チェックフィールド、脱炭素化支援、i3experience
エコドライブ研究所、東北おひさま発電、トイント、フェニックス・コンタクト